VS HARMONICA v2.0.7

USER GUIDE

by **VERSUS** AUDIO

VS HARMONICA USER GUIDE

■ユーザーガイド概要 ——— 03
■ＰＬＡＹ画面の見方 ——— 04
■キースイッチとメインメニューの機能 ——— 07
■ノブの機能 ——— 09
■ＶＯＬＴＯＮＥ画面 ——— 10
■ＳＥＴＴＩＮＧ画面 ——— 11
■クレジット、お問い合わせ ——— 14

■ユーザーガイド概要

VS HARMONICA USER GUIDE（以下「当ガイド」）は、Versus Audio 製品の、「VS HARMONICA」についての説明を行います。
対象となるお持ちの音源を起動してこのガイドをご覧頂くことをお薦めします。
（※搭載する機能の有無や数や範囲については音源およびバージョンによって異なる場合があります。また、当ガイドの記述はバージョンアップや修正などによって予告なく変更される場合があります。当ガイドは、動作内容を保障するものではありません。当ガイドでは、母体となる「NI KONTAKT」本体そのものの機能等に関する説明は致しません。）

当ガイドの対象製品：「VS HARMONICA」

■ＰＬＡＹ画面の見方

演奏範囲　　画像 1

画像 1 は、【Mode:Keyboard】【Key:Free】の状態での表示例です。音源を起動すると、まず始めにＰＬＡＹ画面が表示されます。

①情報表示バー

キースイッチが操作された時、押されたキースイッチに関する情報を表示します。画像 1 ①の状態は、【Key:Free Richer】のキースイッチが押されたことを示しています。

②ノブ・スイッチ類

（※別項「■ノブ・スイッチの機能」参照）

③ヘルプスイッチ

音源の状態に合わせたヘルプを表示します。操作がわからない場合やキースイッチの確認などに使用します。

④パニックスイッチ

音源の動作が不安定なときにパニックスイッチを押すと、全ての音を停止し、発音や発音停止に関する内部変数を初期化します。

⑤メインメニュー

演奏モードやハーモニカのタイプやキー、ノートの吹き吸い制限など、音源をセッティングする上で最も重要な項目が並んでいます。

一番上の【Mode】（画像１**B**）を変更するとメインメニューの項目の一部が変化します。

メインメニューにあるものは全て、キースイッチやＣＣ（コントロールチェンジ）での操作に対応しています。

メニューのすぐ左にある小さいバー（画像１**A**）の色は対応したキースイッチの色を表しています。灰色はキースイッチではなくＣＣで操作可能なものです。この小さいバーを押すと対応したキースイッチが黒色になり、キースイッチ等での操作を無効化します。もう一度押すと復帰します。小さいバーが明るい色のときはキースイッチが有効に、暗い色のときは無効になっています。キースイッチの位置確認として利用することも可能です。

（※メインメニューの機能については、別項「■キースイッチとメインメニューの機能」参照）

⑥画面変更スイッチ

ＰＬＡＹ画面やＶＯＬＴＯＮＥ画面やＳＥＴＴＩＮＧ画面に切り替えます。画像１はＰＬＡＹ画面が選択されている状態です。

（※ＳＥＴＴＩＮＧ画面については、別項「■ＳＥＴＴＩＮＧ画面」参照）

（※ＶＯＬＴＯＮＥ画面については、別項「■ＶＯＬＴＯＮＥ画面」参照）

⑦ベロシティ情報表示欄

現在の設定でのベロシティ情報を表示します。ベロシティにより音量を指定する奏法では「Velocity to Volume」と表示されます。

画像 2

画像 2 は、【Key:C】にした状態です。

①ホールノート表示

画像 2 は、【Key:C】【Richer】の状態での表示例です。演奏範囲の鍵盤の色とホールノート表示がリンクしています。青色の鍵盤を弾くと Blow（吹き音）、緑色の鍵盤を弾くと Draw（吸い音）の該当する穴番号のノートが明るく表示されます。

シアン色の鍵盤は Blow と Draw に重複して存在するノートとなります。

【Mode:Keyboard】【Note:All】時には、選択したキー以外の鍵盤も弾けるようになります。選択したキー以外の鍵盤は、白色の鍵盤となります。

■キースイッチとメインメニューの機能

画像３

画像３は、【Mode:Keyboard】の状態でヘルプを表示したものです。

ヘルプ上段①キー選択【Key:●●】（C-2 ～ D-1）

使用するハーモニカのキーを選択します。【Key:Free,Chromatic Out(Slide Out),Chromatic In(Slide In),C,D♭,D,E♭,E,F,F#,G,A♭,A,B♭,B】

後述の②【Richer,Natural Minor,Harmonic Minor,Country】と合わせてキーを指定します。

ヘルプ上段②キーチューニング選択【Richer,Natural Minor,Harmonic Minor,Country】（G-1 ～ A#0）

使用するハーモニカのキーチューニングを選択します。【Richer,Natural Minor,Harmonic Minor,Country】

前述の①【Key:●●】と合わせてキーを指定します。

ヘルプ上段③演奏ノート選択【All,Blow&Draw,Blow,Draw】（C0 ～ D#0）

全ての鍵盤を使用する（All)、吹音と吸音を使用する（Blow&Draw)、吹音のみを使用する（Blow)、吸音のみを使用する (Draw)

ヘルプ上段④タイプ選択【Single,Tremoro1,Tremoro2】（F0 ～ G0）

通常のハーモニカ (Single)、複音タイプ 1(Tremoro1)、複音タイプ 2(Tremoro2)

画像４

画像４は、【Mode:Hole】の状態でヘルプを表示したものです。

ヘルプ下段①マイク選択【Mic:Near,Near+Far,Far】（C7 ～ D7）

マイクを選択します。切り替え時に音色が変わるわけではなく、切り替え後の演奏から音色が変わります。使用するマイクはＳＥＴＴＩＮＧ画面【LoadMic:Near,Near+Far,Far】でロードされている必要があります。ロードされていない音は発音しません。

ヘルプ下段②モード選択【Mode:Keyboard,Hole】（B8 ～ C8）

・【Mode:Keyboard】（B8）

鍵盤に音程を合わせた演奏モードです。C１ の鍵盤が有効な状態でC１ の鍵盤を押すとC１ の音程のサンプルが再生されます。

・【Mode:Hole】（C8）

【Key:●●】で選択したキーの穴に対応した鍵盤で演奏できるモードです。C1 ～ B3 が吹き音専用鍵盤、C4 ～ B6 が吸い音専用鍵盤となります。C １の鍵盤を押すと１穴の吹き音の音程のサンプルが再生されます。

吹き音吸い音共に、左から順に穴番号１～１６までのキーに対応した音程のサンプルに対応しています。

（※【Mode:Hole】時には吹き音吸い音の演奏が容易となり鍵盤制限の必要がなくなるため、メインメニューの【Note:All,Blow&Draw,Blow,Draw】の機能が自動的に無効になります。）

ヘルプ下段③左右穴同時吹き選択【+Off,+LR Hole,+L Hole,+R Hole】（F7 ～ G#7）

【Mode:Hole】且つ【Key:Free 以外】のときに表示される項目です。

設定することで左右の穴、またはどちらかの穴を同時に吹くことができます。

左右の音の音量コントロール用 CC は SETTING 画面【+LRHoleVol:CC#●】で指定できます。CC の値が 0 で最低音量、127 で最大音量になります。

・【+Off】（F7）

左右の穴の音を同時に鳴らしません。デフォルトの設定値です。

・【+LR Hole】（F#7）

左右の穴の音を同時に鳴らします。

・【+L Hole】（G7）

左の穴の音を同時に鳴らします。

・【+R Hole】（G#7）

右の穴の音を同時に鳴らします。

■ノブの機能

画像 5

画像 5 はＰｌａｙ画面に表示されるものです。

①ノブ【EXPRESSION】

エクスプレッションを操作して音量を変化させて音に抑揚をつけます。

②ノブ【HandWah】

掌の開閉でかけるワウをシミュレートしたワウです。ＳＥＴＴＩＮＧ画面の【WahType:1,2,3,4】でワウのタイプを選択できます。

③ノブ【P.BEND RANGE】

ピッチベンド操作では、全ての音をベンドします。【P.BEND RANGE】では、そのピッチベンドのレンジを指定します。

④メニュー【Sync】

【VIBRATO SPEED】を周波数で操作するか、テンポシンクしたものにするかを指定します。

■ＶＯＬＴＯＮＥ画面

画像６は、ＶＯＬＴＯＮＥ画面を表示したものです。　　画像６

画像６左下の「VOL,TONE」ボタンを押すと、ＶＯＬＴＯＮＥ画面が表示されます。

①メニュー【各 MIC Stereo/Mono L/Mono R/Mono C】

各マイクのステレオ・モノを指定します。（Mono Ｌ：左 CH、Ｒ：右 CH、Ｃ：左 CH+ 右 CH)

②スイッチ【各 MIC PHASE】

各マイクの位相を反転します。「Normal」は通常の位相で「Reverse」は反転位相です。

③ノブ【各 MIC VOL】 ④ノブ【各 MIC TONE】

各マイクのボリューム、トーンを調整します。

⑤メニュー【カーブ選択（Linear/Light）】

ベロシティに対するボリューム変化のカーブを変更します。Linear はベロシティに対して直線的に音量が変化しますが、Light は軽いタッチでも大きい音量になります。

⑥ノブ【VEL-VOL】

ベロシティに対するボリューム変化量を調整します。

⑦ノブ【ATTACK】 ⑧ノブ【RELEASE】

アタックやリリースの長さを調整します。

⑨ノブ【MASTER VOL】 ⑩ノブ【MASTER TONE】

マスターボリューム、マスタートーンを調整します。

■ＳＥＴＴＩＮＧ画面

画像７は、ＳＥＴＴＩＮＧ画面を表示したものです。　　画像７

画像７左下の「SETTING」ボタンを押すと、ＳＥＴＴＩＮＧ画面が表示されます。
メニュー内の「*」が付いている値は初期設定値であることを意味しています。

①【BendRange:●】
ＣＣで行うベンドのレンジを指定します。

②【BendVol:●dB】
ＣＣで行うベンドのボリュームの減衰量を指定します。

③【BendCurve:Linear,Quadratic】
ＣＣで行うベンドのベンドカーブを指定します。Linear：リニア、Quadratic：２次曲線的カーブ

④【ReleaseSound:On,Off】
キーリリース時に、吹き終わりまたは吸い終わりのサンプルを再生するか再生しないかを指定します。

⑤【Humanizer(ms)】
ランダムに選択された時間（ｍｓ）、演奏範囲内の入力を遅延させてタイミングをずらします。例えば【Humanizer(ms):10ms】を選択した場合は、０～１０ｍｓの間のランダムな遅延時間を発生させます。

⑥【Humanizer(dB)】
ランダムに選択された音量（ｄＢ）を全ての音に適用します。例えば【Humanizer(dB):1dB】を選択した場合は、０～１ｄＢの間のランダムな音量変化を全ての音に与えます。

⑦【VibratoPitch】

ビブラートのピッチ幅を指定します。

⑧【VibratoVol】

ビブラートのボリューム変化量を指定します。

⑨【TremoloTune:●cent】

メインメニュー【Type:Tremolo1,Tremolo2】のときに、複音となる音をメインとなる音から何セントずらすかを指定します。

⑩【LoadRR:2-A,2-B,4】

ラウンドロビン数を制限してメモリの使用量を抑えます。【LoadRR】で指定したラウンドロビン数内の音色をロードし、【LoadRR】を超えている分の音色をパージします。

【LoadRR:2-A】はラウンドロビン数を２以下に制限します。【LoadRR:2-B】も同様にラウンドロビン数を２以下に制限しますが、ラウンドロビン４のサンプルを使用して、【LoadRR:2-A】とは異なる音色を選択します。【LoadRR:2-B】でロードされる音色の容量は【LoadRR:4】と同じ容量になります。【LoadRR:2-A】と【LoadRR2-B】は主にダブルトラックとして使用します。

⑪【LoadMic:Near,Near+Far,Far】

マイクを制限してメモリの使用量を抑えます。【LoadMic】で指定したマイクの音色をロードし、それ以外の音色をパージします。

⑫【Far/NearCH】

マイク毎にアウトプットチャンネルを指定します。マイク毎にパラアウトする場合に使用します。音源起動前に、ＫＯＮＴＡＫＴ側でアウトプットチャンネルの設定を行っておくことが条件となります。設定が完了していれば、音源起動時にメニュー内にチャンネルが追加されます。【Far/NearCH:-】にすると、デフォルトの設定に戻ります。アウトプットチャンネルを変更すると、コンプレッサーやコンボリューションリバーブなどのインサートエフェクトの前段の出力が指定したチャンネルに出力されます。

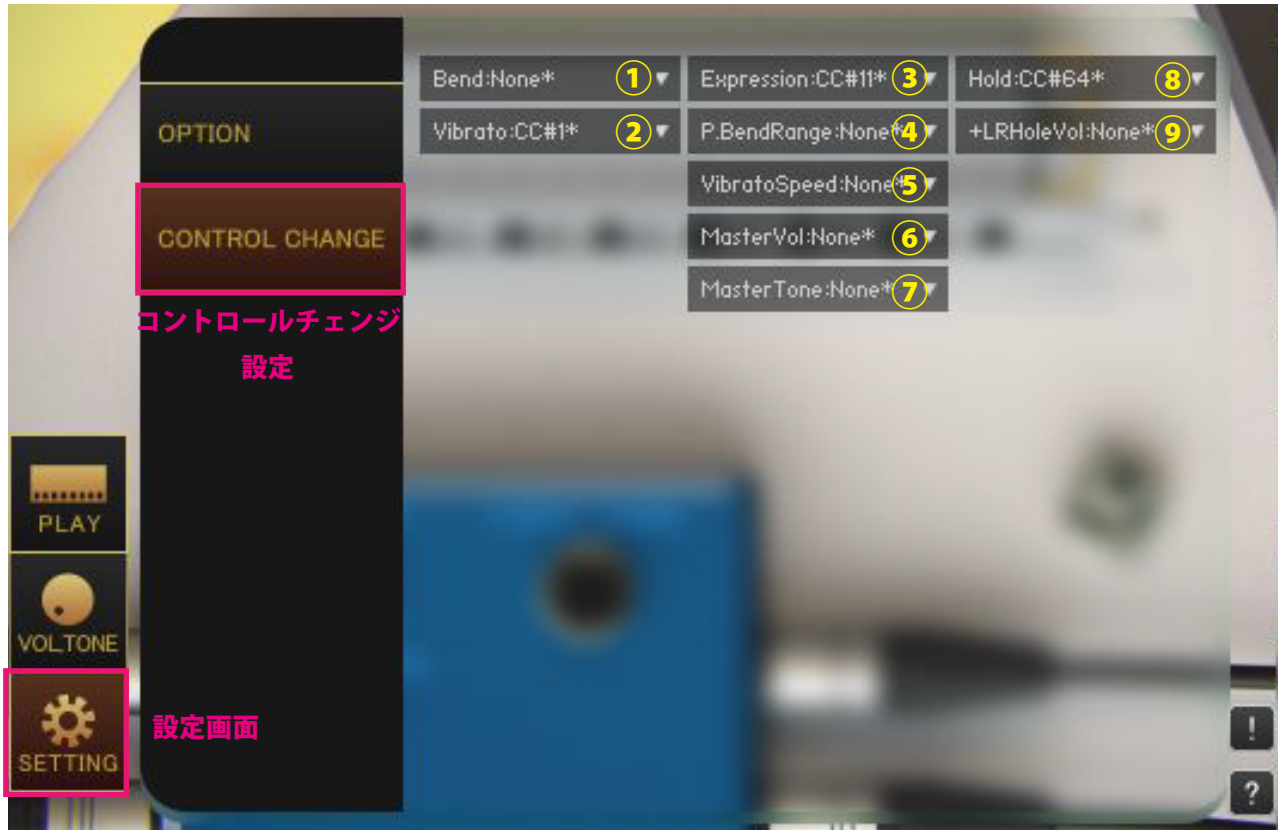
マイクロチューニング（音律調整機能）

各音程をセント単位で調整できる機能です。右のテーブルをドラッグして値を調整します。

【Key:C~B】を選択することで調整が適用されます。【Key:Equal】を選択すると平均律になります。

【-LoadPreset-】メニューからプリセットを選択でき、【Save >>> User12345】で現在の値を保存します。

ユーザープリセットデータは各音源の Library フォルダ内の Data フォルダに保存されます。



①【Bend】

ベンドをかけるコントロールチェンジを指定します。

②【Vibrato】

ビブラートをかけるコントロールチェンジを指定します。全ての音をビブラートします。

③【Expression】

PLAY 画面の【EXPRESSION】ノブを操作するコントロールチェンジを指定します。

④【P.BendRange】

PLAY 画面の【P.BEND RANGE】ノブを操作するコントロールチェンジを指定します。

⑤【VibratoSpeed】

PLAY 画面の【VIBRATO SPEED】ノブを操作するコントロールチェンジを指定します。

⑥【MasterVol】

VOLTONE 画面【MASTER】の【VOL】ノブを操作するコントロールチェンジを指定します。

⑦【MasterTone】

VOLTONE 画面【MASTER】の【TONE】ノブを操作するコントロールチェンジを指定します。

⑧【Hold】

メインメニュー【Hold】を操作するコントロールチェンジを指定します。

⑨【+LRHoleVol】

メインメニュー【+LRHole】で演奏される左右の穴の音量を操作するコントロールチェンジを指定します。

■クレジット、お問い合わせについて

アートワーク（パッケージやＧＵＩの３D/２ＤＣＧ）、プレーヤー、レコーディング、スクリプト、エンジニア：渡部浩成

※「KONTAKT」は Native Instruments 社の製品です。

製品の不具合等のお問い合わせは Versus Audio サイトの「SUPPORT」>「お問い合わせ」内のメールフォームから受け付けております。

また、デモソング [※] やご使用頂いた感想などもお待ちしております、ユーザーの皆様より頂きましたご意見ご感想等の各種情報につきましては、今後の運営の参考とさせて頂きます。

[※：当メールフォームにはファイル送信機能がついておりません。必須ではありませんが該当する音源のみのトラックもありますと幸いです。]

Versus Audio

URL:　https://versusaudio.com/

mail:　info@versusaudio.com